

平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 帯広市における調査結果の状況

1 はじめに

帯広市教育委員会では、平成21年度に国が初めて全ての小学校第5学年、中学校第2学年を対象に調査実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を受けて、児童生徒が積極的に運動に親しみ、体力・運動能力等の向上を図る教育活動や教育課程、指導方法の具体的な改善点などを明らかにしてまいりました。

また、体力・運動能力等は食生活等の生活習慣と関わりが深いことから、児童生徒保護者向けに、望ましい食習慣に関するリーフレットや食育レシピ集を作成・配布するなど、啓発活動に努めるとともに、国の調査が抽出校のみの調査となった平成22年度をきっかけに、帯広市教育委員会としては本市の児童生徒の体力・運動能力の概要について独自に実態を把握し、今後の指導の工夫改善を図るため、「新体力テスト」を活用して「帯広市体力・運動能力調査」を実施しております。

今年度、本調査は、昨年度に続き国の悉皆調査として実施された結果から、次のとおり本市の概況をまとめました。

2 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

3 調査の対象学年

市内小学校 第5学年 児童

市内中学校 第2学年 生徒

4 調査の内容

(1) 児童生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（測定方法等は新体力テストと同様）

小学校 [8種目]	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ
中学校 [8種目]	握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ (※持久走か20mシャトルランのどちらかを選択)

※文部科学省が国民の体力・運動能力の現状を明らかにするために、平成11年度から実施している「新体力テスト」の8種目を実施（詳細は文部科学省ホームページ参照）。

※ボール投げは、小学生ソフトボール、中学生ハンドボールで実施。

イ 質問紙調査

(2) 学校に対する質問紙調査

5 調査の方式

悉皆調査（対象の全児童生徒が参加）

6 調査時期

平成30年4月から7月末までの期間で実施

7 調査を実施した学校・児童生徒数

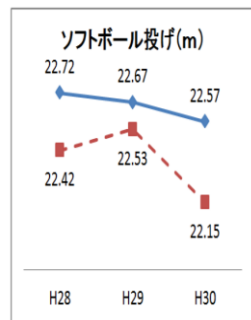
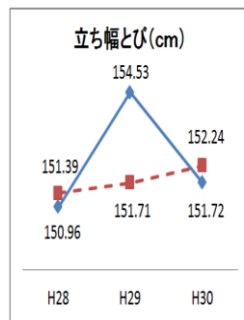
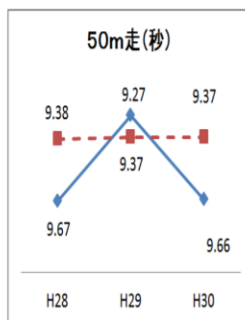
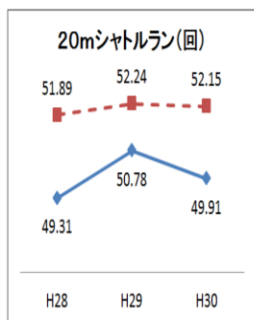
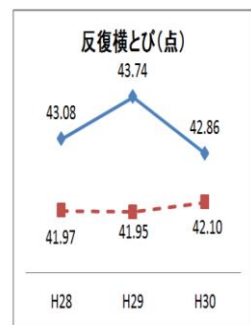
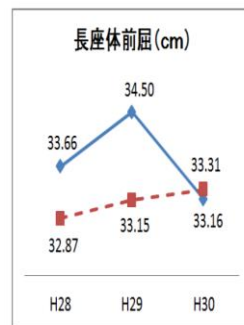
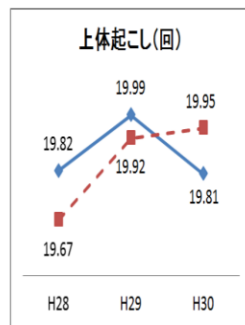
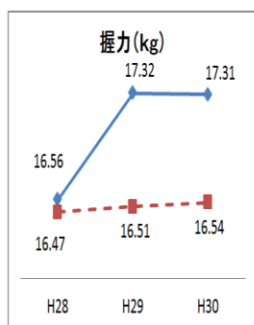
	小学校（校）	児童（人）	中学校（校）	生徒（人）
全 国（公立）	19,855	1,048,613	9,965	934,961
北海道（公立）	1,079	40,288	624	38,701
帯 広 市	26	1,312	14	1,269

8 実技に関する調査結果

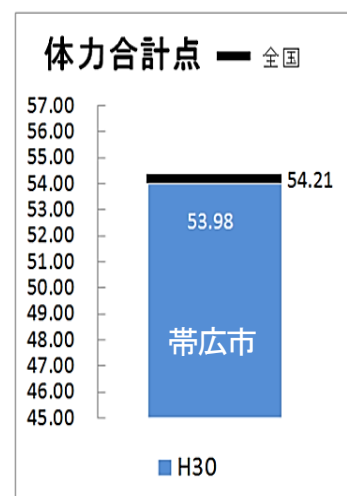
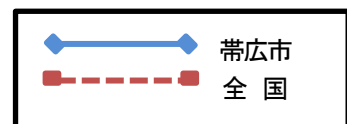
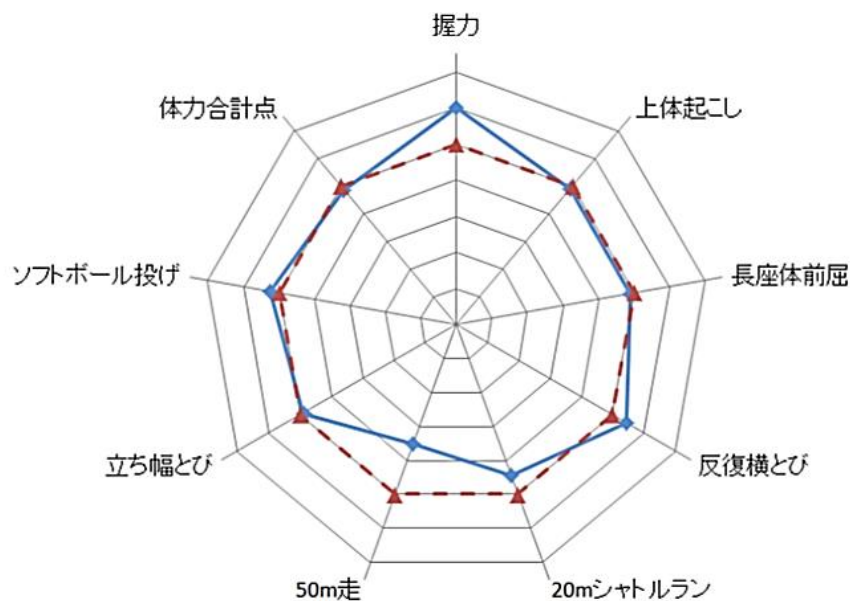
(1) 小学校男子

① 各種目の記録及び体力合計点

		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20m シャトルラン(回)	50m 走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボール投げ(m)	体力合計点
帯広市	記録	17.31	19.81	33.16	42.86	49.91	9.66	151.72	22.57	53.98
	全国差	0.77	▲0.14	▲0.15	0.76	▲ 2.24	▲0.29	▲0.52	0.42	▲0.23
	全道差	▲0.11	▲0.11	▲0.01	0.06	0.15	▲0.01	▲0.48	▲0.19	0.00
全国	記録	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
北海道	記録	17.42	19.92	33.17	42.80	49.76	9.65	152.20	22.76	53.98



② 各種目の全国との比較 (T得点)



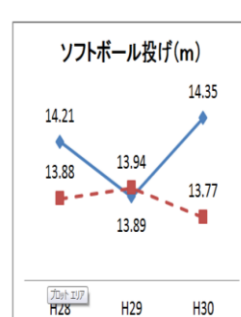
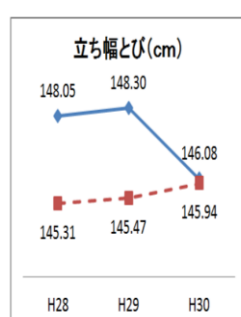
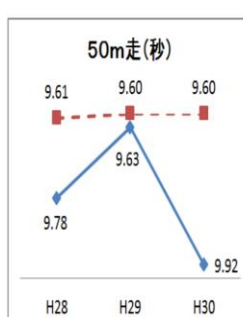
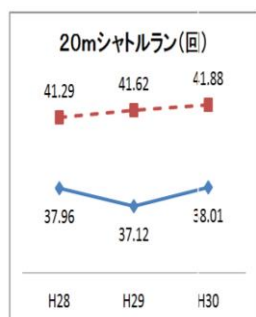
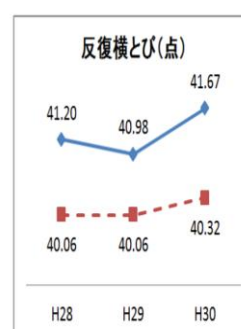
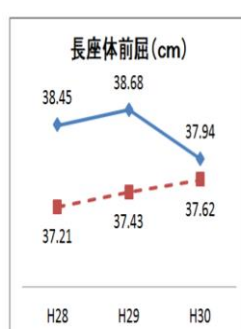
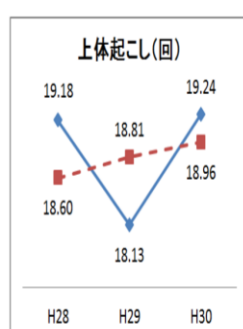
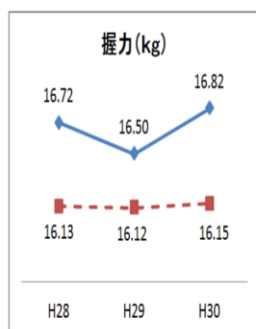
体力合計点～8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。

T 得点～全国を 50 とした時の偏差値

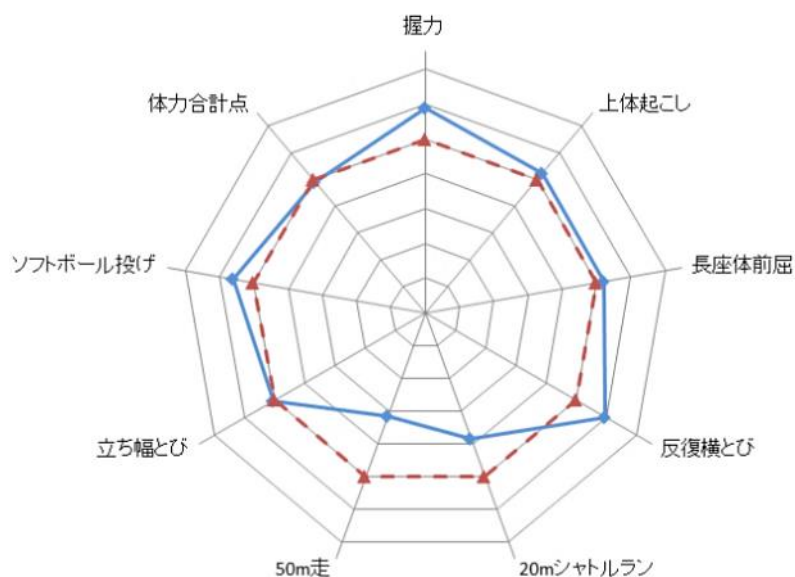
(2) 小学校女子

① 各種目の記録及び体力合計点

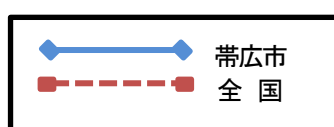
		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトル ラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ソフトボー ル投げ(m)	体力合計点
帯広市	記録	16.82	19.24	37.94	41.67	38.01	9.92	146.08	14.35	55.76
	全国差	0.67	0.28	0.32	1.35	▲3.87	▲0.32	0.14	0.58	▲0.14
	全道差	▲0.17	0.51	0.50	0.66	▲1.27	▲0.09	0.16	0.06	0.18
全国	記録	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
北海道	記録	16.99	18.73	37.44	41.01	39.28	9.83	145.92	14.29	55.58



② 各種目の全国との比較 (T得点)



T得点～全国を50とした時の偏差値

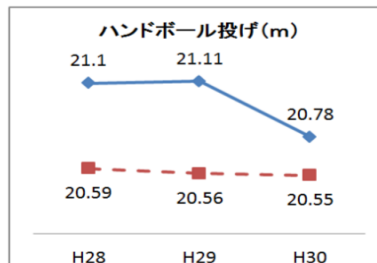
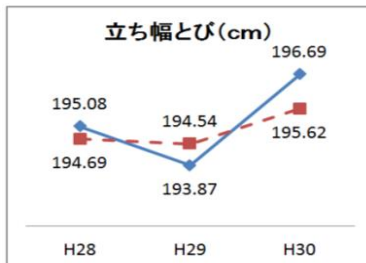
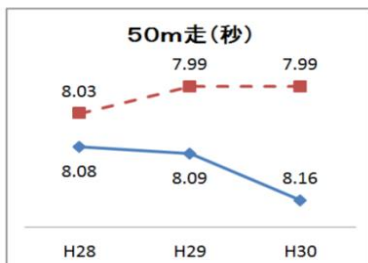
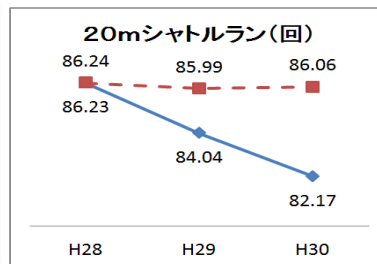
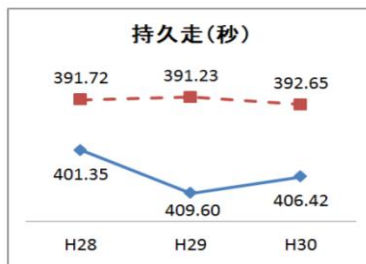
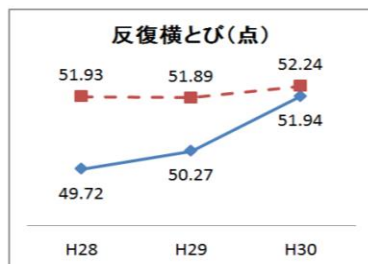
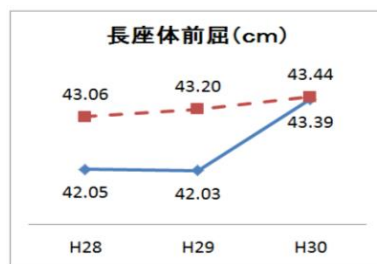
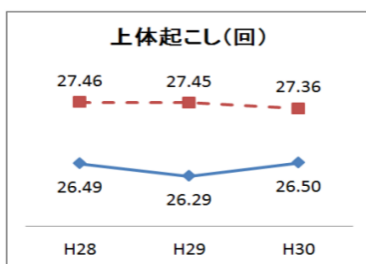
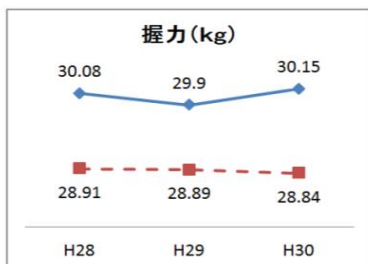


体力合計点～8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。

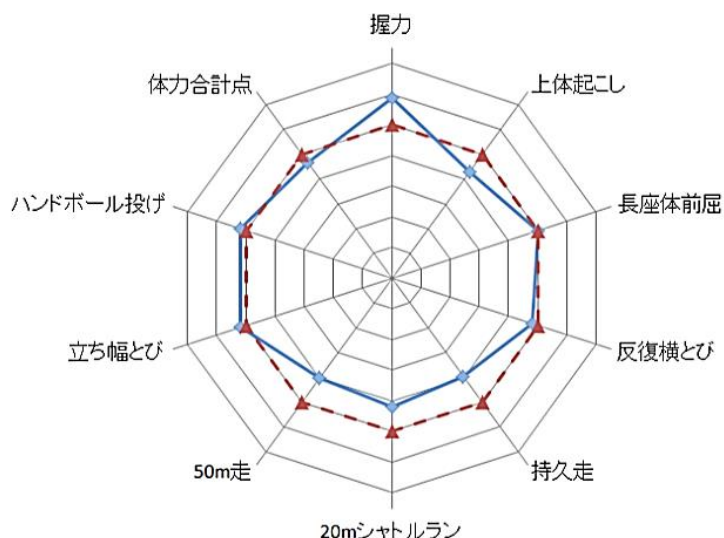
(3) 中学校男子

① 各種目の記録及び体力合計点

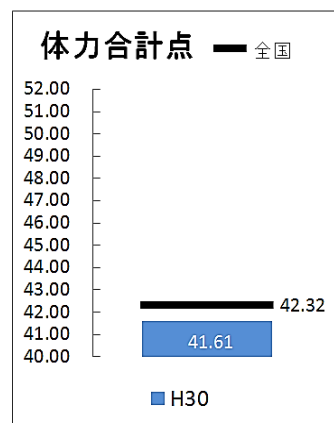
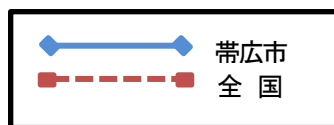
		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	体力合計点
帯広市	記録	30.15	26.50	43.39	51.94	406.42	82.17	8.16	196.69	20.78	41.61
	全国差	1.31	▲0.86	▲0.05	▲0.30	▲13.77	▲3.89	▲0.17	1.07	0.23	▲0.71
	全道差	0.27	▲0.32	1.53	0.90	0.98	0.91	0.02	1.08	0.31	0.29
全国	記録	28.84	27.36	43.44	52.24	392.65	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32
北海道	記録	29.88	26.82	41.86	51.04	407.40	81.26	8.18	195.61	20.47	41.32



② 各種目の全国との比較 (T得点)



T得点～全国を50とした時の偏差値

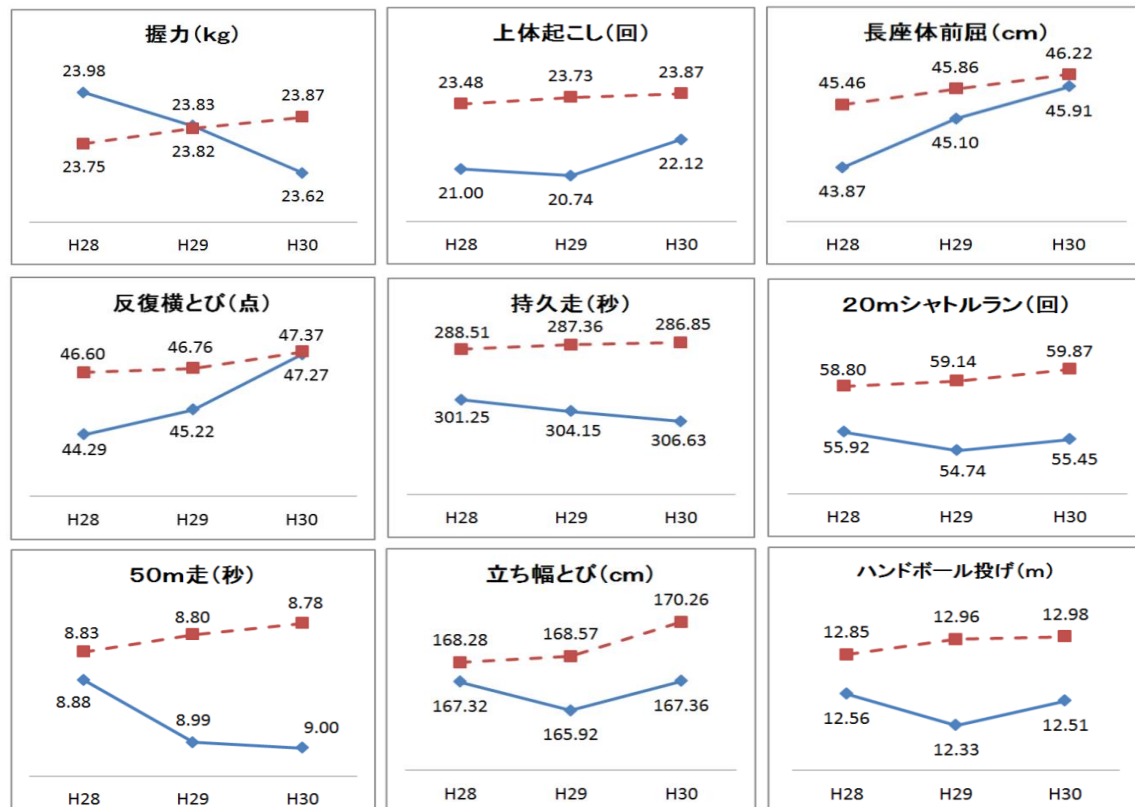


体力合計点～8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。

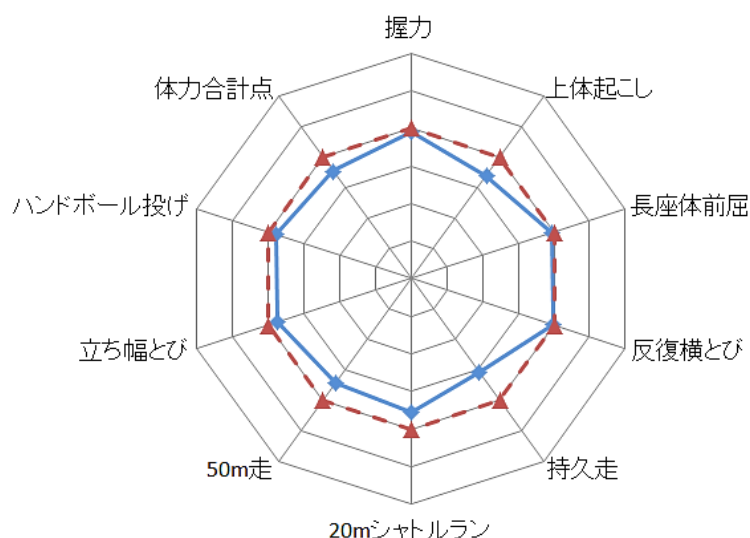
(4) 中学校女子

① 各種目の記録及び体力合計点

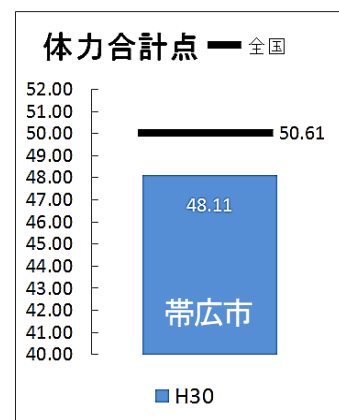
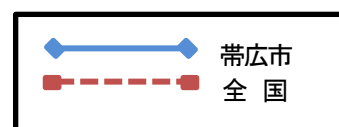
		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール投げ (m)	体力合計点
帯広市	記録	23.62	22.12	45.91	47.27	306.63	55.45	9.00	167.36	12.51	48.11
	全国差	▲0.25	▲1.75	▲0.31	▲0.10	▲19.78	▲4.42	▲0.22	▲2.90	▲0.47	▲2.50
	全道差	▲0.21	▲0.02	1.31	1.70	▲1.95	3.20	0.04	1.76	▲0.02	0.89
全国	記録	23.87	23.87	46.22	47.37	286.85	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61
北海道	記録	23.83	22.14	44.60	45.57	304.68	52.25	9.04	165.60	12.53	47.22



② 各種目の全国との比較 (T得点)



T得点～全国を50とした時の偏差値



体力合計点～8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。

9 児童生徒質問紙調査の状況

(単位は%)

- (1) 「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均よりも高い。

※ () は全国との差

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
帯広市	75.2 (+2.3)	59.1 (+3.6)	70.0 (+6.5)	52.0 (+4.5)
全国	72.9	55.5	63.5	47.5

- (2) 「運動部(部活動)やスポーツクラブに入っている(所属している)」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均よりも低い。

※ () は全国との差

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
帯広市	69.6 (▲8.4)	45.7 (▲5.7)	88.4 (▲7.1)	61.2 (▲7.9)
全国	78.0	51.4	95.5	69.1

- (3) 「家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをよくすすめられる」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均よりも低い。

※ () は全国との差

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
帯広市	27.8 (▲0.8)	15.9 (▲1.9)	18.9 (▲2.7)	15.4 (▲0.4)
全国	28.6	17.8	21.6	15.8

- (4) 「体育または保健体育の授業のはじめに授業の目標(めあて・ねらい)が示されている」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均よりも高い。

※ () は全国との差

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
帯広市	53.8 (+3.2)	52.8 (+4.4)	66.6 (+3.7)	63.3 (+2.3)
全国	50.6	48.4	62.9	61.0

- (5) 「体育または保健体育の授業の最後に今日学んだ内容を振り返る活動を行っている」と回答した児童生徒の割合は、小中・男女いずれも全国平均よりも低い。

※ () は全国との差

	小学校男子	小学校女子	中学校男子	中学校女子
帯広市	17.8 (▲15.4)	16.5 (▲14.8)	30.3 (▲13.1)	31.1 (▲14.0)
全国	33.2	31.3	43.4	45.1

10 学校質問紙調査の状況

(単位は%)

- (1) 体育の授業以外で全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行っている学校の割合は小中いずれも全国平均よりも高い。

※ () は全国との差

	小学校	中学校
帯広市	96.2 (+9.1)	92.9 (+45.2)
全国	87.1	47.7

- (2) 児童生徒の体力・運動能力向上のための学校全体目標を、学年としての目標と別に設定している学校の割合は、小中いずれも全国平均よりも高く、小学校ではすべての学校が取り組んでいる。

※ () は全国との差

	小学校	中学校
帯広市	100.0 (+19.6)	85.7 (+12.3)
全国	80.4	73.4

- (3) 各家庭に、子どもの体力向上に係る説明・呼びかけ等を行っている学校の割合は、小中いずれも全国平均よりも高い。

※ () は全国との差

	小学校	中学校
帯広市	96.2 (+35.7)	64.3 (+32.2)
全国	60.5	32.1

- (4) 新体力テストを調査対象の学年以外でも実施している学校の割合は、小中いずれも全国平均よりも高い。

※ () は全国との差

	小学校	中学校
帯広市	97.7 (+13.9)	92.9 (+4.0)
全国	83.8	88.9

※本市では、帯広市体力・運動能力実態調査として、対象学年以外でも全小中学校で新体力テストを実施している。

11 改善に向けた帯広市の取組

本調査の結果から、最近の本市の状況として、次のような成果と課題が明らかになった。

(1) 体力の傾向から

小学校において、男子は「握力」「反復横とび」「ソフトボール投げ」の3種目(前年度比－4種目)で、女子は「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」の6種目(前年度比＋2種目)で、全国平均を上回った。体力合計点では、男女ともに全国平均をわずかに下回っている。

中学校において、男子は「握力」「立ち幅跳び」「ハンドボール投げ」の3種目(前年度比＋1種目)で、全国平均を上回った。女子については、全国平均を上回る種目がなかった(前年度比－1種目)。体力合計点では、男女ともに全国平均を下回るものの、昨年度と比較すると、全国平均との差が縮まり、改善の傾向が見られた。

小・中学校ともに、体力・運動能力にまだまだ課題が見られる。

(2) 児童生徒質問紙、学校質問紙から

児童質問紙において、小・中学校ともに「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合は、全国平均よりも高い。また、「運動部(部活動)やスポーツクラブに入っている(所属している)」と回答した児童生徒の割合は全国平均よりも低く、「家の人から運動やスポーツを積極的に行うことをよくすすめられる」と回答した児童生徒の割合も全国平均より低い。

学校質問紙において、小・中学校ともにほとんどの学校で、体力・運動能力を向上させるための目標を設定し、具体的な取組を行っている学校が多い。

以上のことから、次のことを各学校に働きかけ、教育活動等の充実を図る。また、引き続き関係部署、関係機関等と十分に連携を図り、子どもを対象とした地域行事(自治会主催の運動・スポーツ行事など)の活性化を図るとともに、子どもの生活習慣・運動習慣の改善に向け、家庭や地域への啓発活動に努める。

- 各学校が本調査結果の分析により自校の児童生徒の体力・運動能力の課題を明らかにし、「知・徳・体」の調和のとれた学校教育活動の充実を図るための根拠として活用し、体力・運動能力や運動習慣等の向上に継続して取り組むこと。
- 児童生徒の経年での体力向上の傾向を把握し、体力向上の対策に資するため、全学年実施(1～3年は一部種目、4～6年は全種目)から、すべての学年における全種目実施を進めること。
- 授業のはじめに目標(めあて・ねらい)を示したり、学んだ内容を振り返る活動を行ったり、十分な運動量を確保したりするなど、体育または保健体育の授業改善に努めること。
- 各学校の実態に応じ、体力向上に向けた「1校1実践」の取組を継続し実施すること。
- 幼保小中の連携を意識すること。特に、義務教育9年間を見通した体力向上に組織として取り組むこと。
- 帯広市PTA連合会と連携してノーテレビデー(SNS、携帯電話)等の取組を行い、親子で一緒に身体を動かすことや、児童生徒の体力や健康と家庭生活のあり方の結びつきについて啓発するなど、家庭や地域社会と連携した取組の一層の充実を図ること。
- 児童生徒の体力向上に向けた教職員指導力研修の充実を図るとともに、体育専科教員活用事業の全校への還元を進めること。
- 日常的な体力づくりとともに、新体力テストの試技技能等にも着目しながら、年間を見通した一人一人の体力向上に向けた取組の一層の充実を図ること。